

平成22年度（第55期）事業報告

自 平成22年4月 1日
至 平成23年3月31日

1. 会員の異動状況

会員の種類		本期末会員数	前期末会員数	差引増減
名誉会員		9	8	1
正会員		2413	2439	△26
学生会員		155	138	17
維持会員	S級	2	3	△1
	A級	12	12	0
	B級	7	7	0
	C級	11	15	△4
	D級	15	13	2
	E級	108	106	2
	合計	155	156	△1
公共会員		12	12	0

2. 事業の状況

(1) 行事

行事名	講演件数	参加者数	期日	場所
トライボロジー会議 2010 春 東京	164	593	22.05.17-19	東京
第54期通常総会・特別フォーラム	1	138	22.05.18	東京
トライボロジーテーマ別基礎講座	2	43	22.06.18	東京
トライボロジー入門講座	8	63	22.07.15-16	東京
トライボロジースキルアップ講座	4	24	22.8.31	東京
トライボロジー会議 2010 秋福井	251	638	22.09.14-17	福井
トライボロジー入門西日本講座	8	35	22.10.14-15	京都
トライボロジー先端講座	—	—	中止（東日本大震災の為）	東京
トライボロジー懇談会	4	128	年3～4回	東京他

(2) 会誌

会誌は「トライボロジスト」を12回発行。ページ数本文789ページ(55巻4号～56巻3号)。特集号としては、「固液界面の物理」、「バイオ燃料とトライボロジー」、「トライボロジーにおける最新計算手法」、「流体摩擦の低減化を図る」、「セラミックスのトライボロジー」、「自動車用補機・電装品のトライボロジー」、「疲労と摩耗」、「微細加工技術とトライボロジー」、「非鉄金属の塑性加工におけるトライボロジー」、「EHL(弾性流体潤滑)の最新研究動向」、「省エネ・環境に貢献するシール技術」、「“超”を目指す気体軸受技術の最前線」を刊行した。

(3) 研究会

研究会名	種別	回数	場所
トライボロジーロードマップ	第1種	6	東京
添加剤技術	第2種	2	東京
固体潤滑	第2種	5	東京、愛知
グリース	第2種	4	東京、神奈川
転がり軸受寿命	第2種	2	東京
エンジン潤滑	第3種	4	東京
転がり疲れ	第3種	2	東京
シール	第3種	5	東京、茨城
鉄道のトライボロジー	第3種	1	東京
ファイル記憶のトライボロジー	第3種	2	東京
摩 耗	第3種	2	福岡、千葉
メンテナンス・トライボロジー	第3種	2	大阪、神奈川
塑性加工のトライボロジー	第3種	2	静岡、神奈川
トライボケミストリー	第3種	2	東京、千葉
自動車のトライボロジー	第3種	4	愛知、茨城
アルミニウムのトライボロジー	第3種	4	愛知、福井
高分子材料のトライボロジー	第3種	2	東京
トライボ材料の環境適合性	第3種	1	東京
超を目指す軸受技術	第3種	3	京都
スペーストライボロジー	第3種	1	茨城
エコマシニングとトライボロジー	第3種	4	愛知、富山
食品工場用潤滑油	第3種	1	東京
分子シミュレーションのトライボロジー	第3種	2	愛知、東京
変速機のトライボロジー	第3種	3	東京
合成潤滑剤の化学	第3種	1	東京
機能性コーティングの最適設計	第3種	2	愛知、京都
テクスチャリング表面のトライボロジー	第3種	4	福井、愛知、栃木、東京
日本海トライボロジー	地区	1	福井
北海道トライボロジー	地区	3	北海道
関東地区中小企業におけるトライボロジー	地区	1	東京

(4) 主な取り組み

学会の会員管理、ホームページ、および編集校閲作業を統括する新コンピューターシステムの構築に向けた取り組みに着手した。

トライボロジー相談室を開設すべく、規定類を整備した。開設は平成23年度になる予定である。

トライボ遺産の認定を開始すべく、規定類を整備した。また、第1回の募集を行い、その中で重要なトライボロジー技術をトライボ遺産として認定した。

ISO18436-4に準拠した機械状態監視診断技術者(トライボロジー)資格認証試験を機械学会と共同で実施した。22年度よりカテゴリⅡの資格認証試験を開始した。

トライボロジーへの理解度向上を目指し、11月に「メンテナンス・テクノショー2010」に出展した。

新法人への移行に関しては、55期第7回理事会で一般社団法人への移行を決議し、第8回理事会で定款案を承認した。定款案はホームページおよびトライボロジスト会告に掲載し、広く会員の意見を求めた。